



総 14050042

平成 26 年 7 月 4 日

人事担当 取締役 北 島 昭 夫

【セキュリティ問題】

就業規則 第 32 条 1. 項 (7) では職務上の「個人 PC」は「専用」というルールになっています。従って、**家族等との共用は認められません**。また、この PC には 第 38 条 2. 項で事実上、アンチウイルス・ソフトの搭載を義務付けております。各位においては、ウイルスバスタ等のソフトを最新のものにし、必ず専用 PC として運用して下さい。

【昇格人事】

次の各位を昇格とします (職制表示)。

山 田 武 司 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

鳥羽 誠一郎 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

小 野 敬 二 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

前 園 和 洋 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

藤田 英理沙 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

村 上 雅 彦 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 係長に任じます。

岩 崎 智 之 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 主任に任じます。

高 尾 遼 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 主任に任じます。

菊 野 武 司 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 主任に任じます。

金 澤 和 也 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 主任に任じます。

木 村 雅 志 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 スペシャリストに任じます。

横 尾 雄 太 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 技師補に任じます。

安 藝 信 良 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 技師補に任じます。

小 鮒 陽 介 : 平成 26 年 8 月 1 日を以って、システム開発部 技師補に任じます。

【資格報奨】

前 園 和 洋：データベース・スペシャリスト合格につき、金一封の報奨とします。

栗 林 藍 利：情報セキュリティスペシャリスト合格につき、金一封の報奨とします。

岩 崎 直 哉：情報セキュリティスペシャリスト合格につき、金一封の報奨とします。
(内定者)

佐藤 佑希久：応用情報技術者試験合格につき、金一封の報奨とします。
(内定者)

【採用人事】

田 鍋 一 朗：平成 26 年 7 月 1 日を以って、英語要員の契約社員として採用とします。

【内定者研修】

佐 粧 渚：平成 26 年 6 月 26 日を以って、内定者研修担当の任を解きます。

村 上 順 一：平成 26 年 6 月 26 日を以って、内定者研修担当に任じます。

【プロジェクト配属】

小 野 敬 二：平成 26 年 7 月 1 日を以って、日立アプライアンス・チーム配属とします。

松 本 美 理：平成 26 年 7 月 1 日を以って、みずほ銀行チーム配属とします。

栗 林 藍 利：平成 26 年 7 月 1 日を以って、日興システムソリューション・チーム配属とします。

清 田 祐 嗣：平成 26 年 7 月 1 日を以って、CHINTAI チーム配属とします。

待 木 健 吾：平成 26 年 7 月 1 日を以って、Sony 技術翻訳チーム配属とします。

中 西 政 義：平成 26 年 7 月 1 日を以って、社内開発チーム配属とします。

田 鍋 一 朗：平成 26 年 8 月 1 日を以って、Sony 技術翻訳チーム配属とします。

【訃 報】

森藤健太さんのお祖母様が、平成 26 年 7 月 3 日にお亡くなりになりました。
心よりご冥福をお祈りいたします。

【決算特報】

第 23 期は平成 26 年 6 月 30 日を以って、決算日を迎えました。皆様のお蔭をもちまして予算達成の見込で、**当日の出席者に対し**「大入り袋の配布」がアナウンスされる予定です。

以上

【参考資料】

平成 26 年 7 月 9 日に東京産業貿易会館で 17:00 より開催される例会には、前回の例会レジメを持参または下記内容を再読理解の上、出席下さい。

第 23 期 第 3 四半期例会 レジメ

平成 26 年 3 月 20 日

株式会社ヘルメスシステムズ

今月の社長ブログにも掲載している通り、世界情勢は速い変化をとげています。平成 26 年 3 月 13 日には、中国の李克強首相はシャドーバンクのデフォルト容認発言をしました。これから理財商品のデフォルトが相次ぎ、中国の崩壊がゆっくりと始まります。日本の株価も大幅に下がってしまいました。

ウクライナでは、国を割った途端にロシアの介入を招き、クリミアはロシア領になります。安保理で拒否権を持っているロシアに欧米の抗議は通じません。ウクライナへの中国の急接近は、食糧安全保障上の必要なので、クリミアには干渉できず、中国は安保理決議を棄権しました。また、米国の金融引締は継続されると思います。

FRB の基軸通貨の引締めは新興国の通貨安を招きますから、対日購買力は低下します。国内景気がそれでも活況であれば結構ですが、4 月からの消費税増税により日本の景気は停滞します。エネルギー自給率 4% の日本で原子力発電の再開がなければ、年 1 兆円を超える日本の経常赤字は続く為、日本経済は不透明になって来ました。

1. 今期の重要施策

- 施策 1. 開発部門はグループ・リーダ制導入（孤立社員の払拭）
- 施策 2. 営業部門は事務アシスタント導入（営業強化）
- 施策 3. 法務部門は契約書セットの完備（契約ルールの確立）
- 施策 4. 総務部門は社労士事務所とコンサルティング契約
- 施策 5. 本社開発部門は受託開発と内定者研修の推進

期首に掲げた上記施策は皆様の協力で進んできております。

システム開発部のグループ・リーダ（GL）制は段々と定着しています。システム営業部には、事務機能を含む営業支援要員を 4 月から配置します。施策 3、4 は既の実施済みです。施策 5. については、受託と教育の両輪を社内で賄うことは難しいと判断し、教育部分については、一部を外注する準備を進めています。

2. 第 3 四半期 財務データと要員数

平成 26 年 4 月 1 日時点で、当社の常勤要員は 75 名と想定していますが、増員は続きますので、会社の発展に伴い、経営層と業務執行層を分けて、皆さんが業務の執行と管理を担って頂く日が近づいています。来春採用予定者は、日本経済の不透明性もあって、当初 30 名の予定を、20~30 名の幅とするように致しました。

第 23 期の PL（2014/2/28 速報値）

売上高	2 億 6 6 6 万円（予算達成率 66.7%）
仕入高	2, 3 4 4 万円（活況による BP 増）
販管費等	1 億 8, 6 8 1 万円（賞与引当金 600 万円含）
営業利益	▲ 3 5 8 万円（4 月で反転予定）
経常利益	▲ 3 4 7 万円
当期純損益	▲ 3 5 1 万円（期末でプラス転換予定）

第23期のBS (2014/2/28 速報値)

流動資産	1億3,009万円 (期首より1,028万円減)
(内、現預金)	6,062万円
固定資産	3,915万円 (93.4%が無形固定資産)
繰延資産	568万円
資産合計	1億7,492万円 (期首より236万円増)
流動負債	3,057万円 (短期借入金ほぼゼロ)
固定負債	1,785万円 (期首より606万円減)
負債合計	4,843万円 (増員で643万円買掛増)
資本金	1億円
資本準備金	2,500万円 (4,500万円に増資予定)
資本剰余金	500万円
利益剰余金	▲351万円
純資産合計	1億2,649万円 (自己資本比率72.3%)
負債・純資産計	1億7,492万円 (前期比1.4%増に鈍化)

3. 資本金等の増資

当社は、来る4月1日に「資本金等の額」を1億5,000万円に増資して信用拡大を図り、優良会社との契約獲得を推進します。

会社は「資本金」ゼロ円も可能なことから、信用指標にならず、代って法人税法第2条16号に規定する「資本金等の額」が指標になっています。増資は平成26年2月28日官報で公告済です。